

令和3年8月20日発行

すまいる

SMILF



発行元 二階堂酒造グループ 喜和屋運輸網 グランドホーム古国府 〒870-0844 大分市古国府四丁目1番6号

> TEL097-573-6353 http://furugo.net

「新しい生活様式」で感染予防!

「新しい生活様式」とは:新型コロナウイルス感染防止の3つの基本である

●身体的距離の確保 ②マスクの着用

❸手洗いの実施や「3密(密集・密接・密閉)」を避ける 等を取り入れた日常生活のこと。

新しい生活様式の実践例

(厚労省HPより)

















感染力が強い変異株にも、基本的な感染予防策が有効です。



シェイクアウト2021



9/1 AM11:45~

放送・サイレンが なりますので、 机の下に入ったり、 カバン・座布団などで 頭を守る行動を して下さい。 Vol.205



コロナ禍で、お花の先生の指導・助言はかないませんが、 皆さん、お花の素性を観察しながら仕上げています。 同じお花を使っても、仕上がりは違います。 どれも立派な作品です。









ART FLOWER

















皆さん、完成した作品を前に笑顔です!

















Vol.205

ジメジメした梅雨が明けるとやって来るのは、 蒸し暑~い日本の夏。 冷たい飲み物や食べ物ばかりだと

<u>夏バテが心配ですよね。</u> 「土用の丑の日に鰻を食べると夏を乗り切れる!」

まことしやかに語り継がれているこの言葉・・・

それって、ホ・ン・ト?

1年に4回ある土用の丑の日に、鰻が食べられるのは「夏の土用の丑の日」だけです。なぜでしょうか?諸説ありますが、一番有名なのは**平賀源内が広めた**という説です。江戸時代、夏場に鰻が売れなくて困っていた(鰻の旬は秋から冬)鰻屋の主人が、学者である平賀源内に相談したところ**「本日、土用丑の日」**と書いた貼り紙を店に貼りだすことを勧められました。すると、その鰻屋は大繁盛。それを聞いた他の鰻屋もまねるようになり、土用の丑の日に鰻を食べる風習が定着したと言われています。

広告の原点みたいなものですね!

また、丑の日にちなんで、頭に「う」のつく食べ物を食べると夏負けしない、という風習がもともとあったことも鰻がよりヒットした理由なのだとか。 入居者の皆様の評判も良く、大変喜んで頂きました。 厨房「フタミ」さん、ありがとうございました。 また来年もお願いいたします。



















Vol.205 **4**



月下美人 今年は5輪の花が咲きました。



輪の蕾をつけました。



先に1輪咲きました。



次に4輪一緒に咲きました。

以前入居されていた方が大事にされていた月下美人。枯れることなく、花をつけています。 深夜に花開くため、入居者様に見てもらうことが出来ないのが残念です。

8/4 消防点検終了後行われた放水訓練

あってはならない火災ですが、訓練は必要です。 放水量結構あります。









新型コロナ感染症について

先日8月7日の大分県下における新規感染者は41名でした。 2週間前の感染であると考えると、オリンピック開始前の4連休の影響が 出てきていると考えられます。

ワクチン未接種の方の動きが活発であれば、感染者が増加するのは 火を見るよりも明らかです。

> 施設の面会・外出の制限は、現状を維持しますが、 感染状況により見直しをしていきたいと考えています。 ご理解・ご協力のほどお願い申しあげます。



6月末には、ワクチンの接種が終わり 最低限の防御が出来ることの安堵感を 味わっていますが、感染の勢いは増す ばかりです。不安は募るばかりですが できる予防対策をしっかりと行うだけ ですね。祈る、全国民のワクチン接種 早期の終了!